



全日本自治労労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 立蔵 賢司

# 組織強化につながる「産別改革」議論を

## 自治労第170回中央委員会



人勤期間争・賃金確定争に向けて意思統一した=5月26日、東京都

5月25〜26日、自治労第170回中央委員会がウエブで開かれ、「当面する闘争方針」に対して27本の発言があり、本部方針が補強・可決された。中央委員会には全国から代議員・傍聴者600人、うち北海道から23人（うち女性7人）が参加した。

石上中央執行委員長は「2026人勤期間争・賃金確定争」政治をめぐる情勢「産別体制・財政の構造改革」について触れ、あいさつした。

全体討論では、北海道から浦池書記長が本部方針を支持・補強する立場で発言。浦池書記長は、多くの公立・民間病院が経営危機にあり、病院の経営努力だ

### 中央本部あいさつ



石上中央執行委員長

連合春闘で民間労組の賃上げ率が5%超を維持しているが、中東情勢などを背景とした物価高が持続中、持続的な賃上げが不可欠で

ある。人事院交渉では、民間春闘の結果を公務員賃金に反映させ、物価高に負けない賃金水準の確保をめざす。また、地方での主体的な賃金決定に向けた運動展開の重要性を強調した。

政治情勢では、自維政権による独断的な国家運営や国会軽視の傾向に懸念を示した。特に税と社会保障をめぐる議論では、労働者の意見が軽視されていることに危機感を持つとし、共生

と連帯に基づく持続可能な社会の実現をめざす政治勢力の形成と、政治方針の補強に向けた議論を進める考えを示した。



発言する浦池書記長

産別体制・財政の構造改革については、統一闘争の再構築や要求・交渉の強化、組織強化・拡大と体制・財政基盤の構築が重要との認識を示し、8月の第100回定期大会での成案化に向けて努力を続けること決意を述べた。

6月は「男女平等推進月間」だ。この間、男女平等講演会や座談会などを通じ、制度や慣習などの社会構造によって無意識のうちに差別や偏見が生み出されていることを学んだ。啓蒙的に「差別は良くない」と訴える

### 朔風

だけでは変わらない。生活や職場の中でどのような差別があるのかを捉え、その背景にある社会構造の問題点を明らかにする必要がある。あらゆる差別をなくし、男女平等社会の実現をめざしていかなければならない。

の総括を丁寧に行い、政治闘争の意義・必要性を共有することが重要だと強調。来年の統一自治体選挙に向けた体制強化と、2年後の第28回参議院議員選挙での組織内・鬼木まことの再選を誓った。

その他、各県本部などからも、産別構造改革、賃金闘争、人員確保闘争や新規採用職員の組合加入促進、組織強化・拡大の取り組み

抱く問題意識、今後の政治闘争の展望が見えにくいとの意見についても、本部として受け止めている。さらに努力を重ね、組織全体が前に進める方針をつくり、議論していきたい」と強調した。そのうえで、「本部の決意として受け止めていただき、地域での取り組み強化と運動前進に向けて力を尽くしてほしい」と訴え、閉会した。

## 第46回全国町村職総決起集会 人員確保に全力をあげる

参加者全員で意思統一をした=5月22日、東京都・有楽町よみうりホール

5月22日、東京都内で開催され、43県本部502人（うち、北海道から104人）が参加した。

はじめに全国町村評議会・藤本議長が「町村は人員の余裕がなく、職員は1人でいくつもの業務を担っ

ている。集会を契機に人員確保闘争に全力で取り組んでほしい」とあいさつした。その後、総務省交渉の報告や単組の取り組み報告を受けた。集会終了後は「町村職員の賃金・労働条件を改善」「地方財政を充実」などを訴え、デモ行進と国会議員への請願行動を行い、その後、2班に分かれ国会議員との意見交換を行った。

中道改革連合の小川淳也・自治労政策協力議員との意見交換では、奨学金返済や独身世代支援の課題を議論。参加者からは、「住民サービスの守るために、現場の声を大切にすることが必要」を共有できて良かった」との声もあった。



悪天候の中、デモ行進を行った=5月22日、東京都

### JICHIRO スケジュール

**6月**  
13日(土)  
2026年度女性セミナー  
(砂川市・ウェブ)  
17日(水)  
男女平等講演会  
(札幌市・対面、ウェブ)  
23日(火)  
人員確保闘争に関するウェブ学習会(ウェブ)

### 道本部ホームページ

組合員専用ページは  
自治労北海道

ユーザー名: dohonbu  
パスワード: since1962

Facebook

## 車両損害補償!

「基本補償(標準型)」にあわせて、大切な愛車をがっちり守る「車両損害補償」  
＜一般補償＞＋付随諸費用補償特約の付帯をおすすめします!

＜一般補償＞

- 他車との衝突
- 車以外の他物との衝突
- 盗難
- 落書きしたずりなどによる破損
- 飛車中・落下中の他物との衝突
- 火災・爆発・自然災害

付随諸費用補償

代車費用や修理工場からの運送費、帰宅等費用、車上荒らしなどによる盗難被害、身の回り品の損害に、所定の基準で補償します。



ワイン城の地下熟成室で、ワインづくりについて語る一戸さん

今回は特徴のある自治体職場として、池田町役場ブドウ・ブドウ酒研究所営業課の二戸竜也さんに、仕事

### 11 職 連

## 母はたらく現場のリアル

### ちよつと気になるあの職場②

ブドウづくりから販売まで十勝ワインを支える職場の魅力

や職場の魅力聞いた。ブドウ・ブドウ酒研究所は、自治体が運営する全国でも珍しいワイナリー。営業・醸造・栽培の3部門に分かれ、正規職員14人、会計年度任用職員34人で、ブドウ栽培から醸造・販売までを担う。

現在約35ヘクタールの自社圃場と契約農家の畑でブドウを栽培。北海道の厳しい寒さに対応するため、独自の品種改良も続けてきた。「清見」「清舞」「山幸」といった独自品種に加え、近年は「銀河」「未来」という新品種も誕生している。

また、自治体経営ならではの強みについて一戸さんは、

「民間では難しい長い時間をかけた研究開発ができること」と語る。これまでに2万1千回以上の品種交配を行い、気候変動にも対応できるブドウづくりを進めている。

営業課の仕事は、販売店への営業や催事対応など幅広い。一戸さんは「スーパーでワイン売り場に行く」と、つい奥にある自社商品を手前に出したり、ワインが曲がっていると直したりして「商品が店頭と並び『おいしかった』と言ってもらえるのがやりがい。役場の仕事の中でも、この達成感はないかな味わえない」と語った。

### 忙中余話

実は今月で満60歳還暦を迎える。が、定年ではない▼千支(え)は十千(じゅっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせた暦の言葉、全くなかり、現代は真逆の「迷信」は全く騒がれなくなる。現代は真逆の「迷信」は全く騒がれなくなる。現代は真逆の「迷信」は全く騒がれなくなる。



講座・グループワークを通じ、学習・交流を深めた=5月16日、紋別市(左)、帯広市(右)

# 自治労運動スキルアップ講座 道東・前期

## 労働組合の意義を確認し 組織強化をめざす

5月16・17日、紋別市と帯広市の2会場で開かれ、35人が参加した。

講座では、初任給や昇給制度、人事院勧告の仕組みなど、公務員賃金制度の基礎について学習するとともに、職場実態を踏まえた交渉や組合活動の重要性について理解を深めた。また、共済学習では、死亡保障や

医療保障の考え方、公的保障制度を踏まえた必要補償を解説した。

地本企画の「憲法学習会」では、前衆議院議員・川原田英世さんを講師に、日本国憲法の基本的な考え方、平和主義・基本的人権・国民主権といった憲法の柱について詳しく解説。近年の改憲議論や政治情勢にも触れ、「平和の上に労働運動や暮らしが成り立っている」という視点から、憲法を学ぶ意義などを共有した。

また、憲法が地方自治や公務労働、住民サービスとも深く関わっていることが説明され、憲法を「身近な問題」として考える重要性を確認した。

### 参加者の声

新岡 大貴さん (紋別市労連)

講座を通じて自治労について自分自身の理解が十分できていないと感じた。また、自治労には組合員を支えるさまざまな制度があることを知ることができた。

学んだことを単組や職場の仲間にも伝えていきたい。

労働組合の基礎的なところを知れて良かった。賃金制度などは知っていたように知らないことが多かった。自分の自治体の賃金制度もしっかり確認したい。後期講座では、より理解を深めながら今後の運動に活かせるように意識したい。

労働組合とは何なのか、何のために組織されているのか、改めて再確認できた。

賃金・労働条件や労働環境の改善などを当局と交渉できるように労働組合の意義を感じた。

### きしまきさんの国会だより

## 国会だより ③

### 個人情報を守るのか

私が筆頭理事をしているデジタル・AI特別委員会では、データ利活用の促進のための法整備として「個人情報保護法改正案」を審議する予定で

統計目的(AI開発を含む)であれば、要配慮個人情報ですら本人同意なく、しかも、個人が特定されないようにこれまで義務付けてきた「匿名加工」や「仮名加工」を、少なくとも第三者である事業者が入手できることになり得る。

問題があれば個人情報保護委員会が勧告などを行うといいますが、あまりに緩すぎる規制緩和であり、これまでの個人情報保護法の根幹を蔑ろにしています。プロファイリングや情報漏洩などの懸念が多く、歯止めをかける質疑ができないかと悩む日々です。

### 抽選で池田町『梅酒 ブランデー仕込み』プレゼント

## 情報発信に関するアンケート

『池田町ブドウ・ブドウ酒研究所』様のご厚意により、『梅酒ブランデー仕込み』3本のご提供をいただきました。本アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で3名の方にプレゼントいたします。

専用の応募フォームより、アンケートにご回答のうえ応募ください。(右記QRコードからお申込みいただけます)  
※当選者は2026年8月に発行する「機関紙自治労北海道」に掲載予定

申込方法 応募期間 2026. 6/11(木) ~ 7/31(金)

### 紙面ではお伝えできませんが、赤いジャンパーを着用している

66年は驚くほど出生率が低いといわれている。既に数年前から出